人間科学部

現代子ども教育学科

No.	テーマ	内容	教員名
58	子どもと音楽	大好きな曲を口ずさんだり、体でリズムを刻んだり、人は無意識のうちに音楽を心や身体で感じています。音楽は成長段階にある子ども達の表現力、想像力、記憶力など様々な能力の育成に役立ちます。 出前授業では「わらべ唄・絵かき歌・リズム遊び・手話付き合唱」など、子ども達と一緒に楽しめる遊びをいくつか紹介します。音楽を用いた遊びを通して、表現することの楽しさや大切さを考えてみましょう。	磯部 澄葉
59	英語で体育	小学校の先生をめざす人のための体育模擬授業を行います。これからの小学校教員は、英語で授業を行う能力が求められます。金城学院大学は「体育指導を英語で行う力の育成」にも力を入れています。「英語で体育」に挑戦する実践の機会を一緒に持てたらと思います。	大金 朱音
60	英語の学び方 ー子どもから学べることー	子どもは簡単に外国語を学ぶことができる、という神話があります。さて、本当にそうでしょうか？帰国子女はみんな英語がペラペラであるという神話があります。本当にそうなんでしょうか？ 人はみな、母語を学びます。自分はどうやって母語を学んできたのか、振り返ってみましょう。回りの乳幼児に注意を向けてください。どのように日本語を習得しているでしょうか？そこから、何か学ぶことができないでしょうか。子どもが母語を学ぶように、外国語を学べたらいいと思いませんか？ 日本の子どもたちがどのように日本語を学んでいるか、そして英語圏の子どもたちはどのように英語を習得しているのでしょうか。子ども文化、そして子どもを取り巻く社会のようすに触れながら探っていきましょう。	小田 節子
61	子どもの権利と福祉	子どもは 「安心して」「自信を持って」「自由に」生きる権利を持っています。 遊ぶ権利や休息する権利、自分の気持ちや意見を表し、それを受け止めてもらう権利なども、子どもが子どもらしく生きる「子ども期」にとって大切な権利です。絵本や写真、子どもたちが書いた詩などを通して、国内外の子どもを取り巻く状況に目を向けつつ、「子どもの権利(子どもの権利条約)」について学んでみませんか?	上村 千尋
62	教えて！みんなの意見の集め方。 こども基本法について学ぼう！	2023年4月に「こども基本法」が成立しました。この法律では、こどもや若者の意見を聴きながら国や自治体などのこども施策を進めていくことが求められています。こどもや若者が意見を言う機会や仕組みづくりについて、また居場所づくりについて、当事者である高校生の皆さんのアイデアや考えなどをぜひ聞かせてください。意見表明や社会参画の仕方をワークショップ形式で学んでみましょう！	
63	保育所・幼稚園の先生に必要な力とは	幼稚園や保育園の先生を目指す人は、どのような力を身に付けておくとよいのでしょうか。子どもたちが幼稚園や保育園で楽しく遊び、のびのびと園生活を送るためには、保育者が子どもに寄り添いながら、その子どもを次のステップに向けて育もうとする姿勢も求められます。また、子どもはどんな遊びが好きで、何を面白いと感じるのかをキャッチし、子どもと一緒に遊ぶことができる力も必要になります。模擬授業を通じて、保育者に必要な力について一緒に考えてみましょう。	西村 美佳
64	子どもと造形表現	幼稚園や保育園、小学校の先生を目指す人のための造形表現活動の模擬授業を行います。子どもたちが楽しく造形表現の活動に取り組めるようにするためには、指導にあたる者がその活動を楽しむことが大切であることを、簡単な作品作りを体験しながら学んでみましょう。	野村 和弘
65	子どもと言葉	子どもたちの生長を支える教育者・保育者に必要な「言葉の力」は、どのようなものか考えたことはありますか？ 人は、言葉によって思考し、言葉の影響によって成長します。出前授業では、この言葉の力に注目し、目の前にありながら可視化されていない課題の存在に気づく力を養い、その課題を解決するために「ことば」を用いて試行錯誤し、そのプロセスを方法論として自覚的に身につけるための手法について取り上げます。 子どもを支援する上で、必要な言葉の力について、国語でとりあげられる文学作品の読みや、韻文の創作を通して、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。	寺島 徹

66	「学校」って何だろう	私たちにとってあまりにも身近すぎる学校。学校と無関係に生きている人などいないでしょう。しかし、ほんの140年ほど前までは、今のような学校制度はなかったのです。 私たちは、学校に様々な期待や、思いを抱いてきました。「ごくせん」「金八先生」、山田洋次監督の映画「学校」シリーズなど、どれほどの学校のドラマが、人々の心をつかんできたことでしょう。学校は、私たちの人生にとって、かけがえのない存在です。 しかし、その反面、学校でつらい思い、苦しい日々を過ごしてきた人がいることは事実です。特に、小学校・中学校は義務教育ですから、そこから逃げることはできません。学校が権力装置としての顔を持っていることも事実です。 あまりにも当たり前になっている学校を、いろいろな角度から考えてみようというのが、この授業のねらいです。	原田 琢也
67	愛するということ ー幸せになるためにー	愛は、偶然に支配されている感情や気分ではありません。愛するということについて理解し愛する能力を成熟させることで、自分の力で愛を生み出し育てることができるものです。このような愛の本質を知り自分の愛する力を伸ばすことができると、幸せになれます。幸せになるために、そしてあなたと関わる人々を幸せにするために、正しく愛するということについて考えてみませんか。	治田 哲之
68	保育のキホン「子どもを理解する」ってどういうこと？	みなさんは、保育者の仕事はどのようなものだと考えていますか？ 例えば日々の絵本の読み聞かせも、制作活動の内容も、けんかの仲裁も…。保育はすべて「子どもを理解する」ことから始まります。 一人ひとり違う子どもたちを担任する保育者は、日々どのように子どもを理解し、保育を展開しているのでしょうか。実際の事例を検討しながら考えます。	日比野 直子
69	子どもの育ちを絵本から考えよう	赤ちゃんから子どもへ。子どもたちは、家庭で保育園や幼稚園で、どんな風に大きくなっていくのでしょう？絵本を使いながら、みんなで考えていきましょう。	南 元子
70	子どもの世界を再発見	小学校就学前の幼児だった頃，あなたはどんな遊びに夢中になっていましたか。おままごとや鬼ごっこ，ドッジボールや工作など，その当時は時間も忘れるほどに夢中になっていたことと思います。ですが，高校生のあなたは，今，その遊びをしたとき，当時と同じようにいつまでも没頭していられるでしょうか。 私たちは大人へと発達していく過程で，子どもの頃にはあったはずの感覚や物事の捉え方が少しずつ変化していきます。この授業では，そんな今は失ってしまった子どもの頃の感じ方，物事の捉え方について扱い，「子どもってどんな存在だろう？」を一緒に考えていきます。	三宅 英典
71	Do I even need to know English?	スマホやAIの時代、翻訳ソフトは指先ひとつで使えます。誰かとコミュニケーションを取る必要があれば、機械に言いたいことを入力し、出力を選ぶだけで完了します。では、なぜわざわざ英語や他の言語を学ぶ必要があるのでしょうか？言語との関係を再考してみましょう。言語を使うには、相手の性格や背景を理解し、適切な言葉を選ぶ必要があります。日本での適切な話し方や問題解決の方法が、そのまま他の国でも通用するとは限りません。言語が世界、友人、そして自分自身について何を教えてくれるのか、一緒に考えてみましょう。	MOLNAR, John A. （モルナー ジョン）

※ 授業は約５０分を予定しています。

【お申込み・お問い合わせ】
金城学院大学　入試広報部
電話：0120-331791　e-mail：nyushi@kinjo-u.ac.jp

本学公式サイト